

第10回支部執行委員会議事録（2021年度第2回）

JCI 四国支部

1. 日時 2021年8月30日（月）15時00分～17時00分
2. 場所 香川県生コンクリート工業組合（Web会議）
3. 出席者 支部長：橋本親典 副支部長：上田隆雄
幹事：氏家勲，岡崎慎一郎，武田融昌，林和彦，富田雄一，藤井禎
古田満広，横井克則，渡辺健
執行委員：川島恭志，河合慶有，熊沢敬輔，中川裕之，中村康一
福山裕史，三好邦治，吉田秀典
検査役：堀井克章
本部理事：松島学
研究委員会報告者：尾寄秀典
オブザーバー：原田隆敏
事務局：新居宏美 計 24 名
4. 配付資料
資料 1 第9回支部執行委員会議事録（案）
資料 2 2021年度事業報告（中間）と今後の事業計画
資料 3 香川県生コンクリート工業組合の活動報告
資料 4 橋本先生話題提供資料

5. 審議事項

橋本支部長より支部執行委員会開催に当たり挨拶があり，その後，各議題について審議が行われた。審議結果は，以下のとおり。

（1）第9回支部執行委員会議事録の確認（資料1）

第9回支部執行委員会議事録（案）が確認され，支部HPに掲載することが承認された。

（2）年次大会2024高松について（資料なし）

橋本支部長より年次大会2024高松の準備状況について，開催日は2024年7月3日～5日，前々日から資材の搬入・会場設営等実施，場所はサンポート高松であるが2022年度と2023年度に実施予定の耐震改修工事の施工者が未定であり予約できていないこと等が報告された。

（3）2021年度上半期事業報告および下半期事業予定の確認（資料2）

2021年度上半期に実施した事業および下半期活動予定について事務局より説明がなされ

た。また、研究委員会の取り組み状況についてそれぞれ担当者より説明がなされた。主な報告内容および審議結果等は以下のとおり。

- ・「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」について尾寄幹事長より、前年度コロナ禍により活動できなかった多度津高校が本年度のモデル活動校として取り組んでいること、第14回コンクリート甲子園はリモート開催とし26校より申し込みがあり10月2日に予選会を行い12月11日日本選開催の方針であること、12月4日に本委員会をリモートで開催しコンクリート業界への就職状況等を確認する予定であること等が報告された。
- ・「四国の生コン技術力活性化委員会【第5期】」について古田幹事長より、第3回委員会を7月10日に対面で開催したこと、4グループの研究テーマがそれぞれ決定したこと、12月に対面式で第4回委員会を徳島で開催予定であること等が報告された。また、コロナ禍により本年中に実験を終えることができないグループがあり次年度も本委員会継続の要請がなされ、3年目の委員会活動が承認された。なお、本年度中に予定していた成果報告会は次年度に延期することが併せて確認された。
- ・「材料分離が生じたコンクリート中の鉄筋腐食性状の評価委員会」について河合委員長より、3回目の委員会を5月にリモートで開催したこと、生コン工場での銅スラグおよびフライアッシュの使用状況（標準化状況）を調査していること、10月から活発な活動を計画していること等が報告された。
- ・「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会」について林委員長より、成果報告会を11月1日からオンデマンド型オンライン形式より開催予定であること、10月下旬にCD-Rを作成予定であること等が報告された。また、支部会員に対し10月初旬に報告会の開催を案内すること、報告会参加料は無料とするがCD-Rは1,000円（税および送料込み）とすること、コンクリート工学誌への開催案内会告は行わないこと等が確認された。
- ・「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会(第2期目)」について1期目委員会の林委員長より、1期目の成果報告会終了後に活動をスタートすること、委員長は未定であるが幹事団の中から選定する考えであること、リモート会議が中心になるので活動費を機材購入等に充てる方針であること等が報告された。
- ・「生コンセミナー in 香川」について古田支部幹事より、10月から準備をスタートし3月頃に開催予定であること、コロナ感染が改善されていない場合は次年度への延期も検討すること等が報告された。
- ・高知県コンクリート診断士会主催のコンクリート技術研修会について同会の原田会長より、会員56名を対象とした業務体験報告会を高知市で10月16日に開催すること、8事例を発表すること、オンラインを併用し発信すること、会場への参加者数は50名を上限とすること等が報告された。
- ・コロナ感染終息が見通せないため、現場見学会を昨年度に引き続き中止することが決議

された。

(4)「コンクリートに関する技術情報交換会(仮称)」の設置のための試行(資料3,4)

橋本支部長より「コンクリートに関する技術情報交換会(仮称)」立ち上げの目的が説明され、本日は試行的に以下のとおり2名より情報提供がなされた。

- ・古田 満広(香川県生コンクリート工業組合)
生コンクリート工場の技術力活性化と労働環境改善等を目的とした生コンクリート工業組合の支援活動報告(年次大会2020 論文集採択)
- ・橋本 親典(徳島大学大学院)
60年以上経過した長安ロダムの堤体コンクリート内部から採取したコア供試体の物性値の評価(年次大会2020 論文集採択)

報告後、質疑応答がなされた。また、本交換会設置が承認され、今後の取り組み方針を以下のとおり確認した。

- ・2021年度は11月と1月に開催する。開催日は支部執行部で調整する。
- ・1件当たりの発表時間を30分、質疑応答に15分とし、1回に2件の発表で90分とする。
- ・発表者は希望を募り、ない場合は橋本支部長より指名する。
- ・支部会員への案内は最初の1回に限り郵送し、以降はHPでの案内(確認)を基本とする。
- ・2022年度は2か月に1回開催を基本とする。

6. 次回執行委員会の開催

次回第11回執行委員会は、来年2月上旬開催の予定。対面式の場合は、香川工組会議室。

以上

(記録者:古田 満広)